

平成23年度

# RIEC Award 授賞式



東北大学電気通信研究所

日 時：平成23年11月18日(金)  
14時45分～15時30分

場 所：学術総合センター  
東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

# RIEC Award 授賞式次第

1. 挨 拶 東北大学電気通信研究所 所長 中沢正隆

司会 東北大学電気通信研究所  
副所長 庭野道夫

2. 授 賞 (財)電気通信工学振興会 理事長 高橋研

3. 受賞者挨拶

RIEC Award 北海道大学 齊藤晋氏

RIEC Award 奈良先端科学技術大学 猿渡洋氏

RIEC Award 東北大学研究者賞  
東北大学大学院情報科学研究科 住井英二郎氏

RIEC Award 東北大学学生賞  
東北大学大学院工学研究科 金性勲氏

4. 受賞記念講演

講演 1  
「微細構造光ファイバの高度利用技術の開発に関する研究」

北海道大学 齊藤晋氏

講演 2  
「ブラインド音源分離に基づく自律的音響信号処理の先駆的研究」

奈良先端科学技術大学 猿渡洋氏

# RIEC Award 受賞者

## RIEC Award

齊藤晋氏 (北海道大学)

業績 「微細構造光ファイバの高度利用技術の開発に関する研究」

授賞理由：齊藤氏は、より高精度な光通信用ファイバの開発のために微細構造光ファイバの光学特性などを高精度に算出できる理論を構築し、様々な応用目的に合わせた最適光ファイバ構造を提案し、この分野の研究を先導する研究成果を挙げました。その研究成果は、本賞にふさわしいものと高く評価されました。

略歴：2001年3月 北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了

2001年4月 北海道大学大学院工学研究科助手

2004年6月 北海道大学大学院情報科学研究科助教授・准教授

猿渡洋氏 (奈良先端科学技術大学)

業績 「ブラインド音源分離に基づく自律的音響信号処理の先駆的研究」

授賞理由：猿渡氏は、独立成分解析 (ICA) という統計的手法と空間音響学の関連を明確化することにより、マイクで観測される音信号のみから、音の空間情報を保持したまま各音源を分離抽出することに成功しました。この技術は実用化・商品化に成功し、警察備品に採用されています。その研究成果は、本賞にふさわしいものと高く評価されました。

略歴：1993年3月 名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程修了

1993年4月 セコム株式会社IS研究所研究員

1998年4月 名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程入学

2000年3月 名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程修了

2000年4月 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授・准教授

## RIEC Award 東北大学研究者賞

住井英二郎氏 (東北大学大学院情報科学研究科)

業績 「プログラム等価性証明手法」

授賞理由：住井氏は、二つのプログラムが「等しい」と（プログラム等価性）を論理的に示すための証明方法を開発し、これまで成功例のない現実的なプログラミング言語におけるプログラムの等価性を特徴づけることに成功しました。その成果は様々な言語に適用され、普遍性が確認されるなど世界的な注目を集めています。その研究成果は、本賞にふさわしいものと高く評価されました。

略歴：2001年3月 東京大学理学系研究科博士課程中退

2001年4月 東京大学大学院情報学環助手

2003年4月 ペンシルベニア大学工学部Research Associate

2005年5月 東北大学大学院情報科学研究科助教授・准教授

## RIEC Award 東北大学学生賞

金性勲氏 (キムソンファン) (東北大学大学院工学研究科)

業績 "Magnetic mechanics: Magnetic robotics and functional pump driven by a rotating magnetic field" (「磁気力学：磁気ロボット工学と回転磁場駆動ポンプ」)

授賞理由：金氏は、回転磁界を利用して、ワイヤレスでバッテリーレスの様々なタイプの新しい駆動装置を発明し、ロボットシステムや人工補助心臓への応用などに応用しました。その技術はバイオメディカル分野、バイオミメティクス分野などで注目を集めています。その研究成果は、本賞にふさわしいものと高く評価されました。

略歴：2007年8月 Kyungpook National University, Graduate School of Medical & Biological Engineering (韓国) 修士課程修了

2007年9月 Researcher, Pohang Institute of Intelligence Robotics (韓国)

2009年4月 東北大学大学院工学研究科博士後期課程入学